

## 編 集 後 記

本号は、平成4年3月末日付けで本学を定年退職された丸山一彦・若田部博哉両教授の定年退職記念号である。

白鷗大学では学長の前田俊夫先生から、定年で退職される先生方の記念行事として最終講義をお願いしたらどうか、というご意見が出されて、教授会で了承された。そしてこれが昨年度から実施され、丸山先生の最終講義は、平成4年1月16日(木)に「私の研究の歩み」と題して行われた。また、若田部先生については、同月22日(水)に「アメリカニズムの歴史的背景」という最終講義があり、何れも教職員や学生が多数参加して、盛会裡に終了することができて、誠に有意義なことであった。すでにご退職になった先生方には誠に申し訳ないことであるが、今後はこれがよい慣例となり慣行化してゆくものと思う。

編集委員会では、桑原源次委員長の発議で『白鷗大学論集』に両教授の定年退職特集号を組み、両教授が本学で活躍された研究と教育の成果を高く評価するとともに、これを長く顕彰したいとして、学長や教授会の承認を得て本号が刊行されることになったのである。

そのようなわけで本号では、両教授の最終講義の内容を原稿におこし、これを巻頭論文として掲載することにした。なお、両教授の経歴及び業績目録を巻末に付して読者の参考に供した。ここに両教授が永年にわたり本学の研究と教育のため、ご尽力をいただいたことに対して、謹んで感謝の意を申し上げる次第である。

なお、本号の発行にあたっては、諸先生方がご多忙のところご執筆をいただいたことについて、深甚な敬意と感謝の気持を表したいと思う。

最後に本号の編集にあたって、両教授の最終講義の原稿おこしの作業をしていただいた柳川高行先生、両教授の経歴及び業績目録の作成にご協力をいただいた本学事務局の申請室長諸星ノリ子氏に対して、衷心からお礼を申し上げます。

本学教授権平 敬先生が、去る6月29日、入院先の東京都杉並区の東京衛生病院で逝去されました。享年69歳であった。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。  
(福島・針生・桑原)